

出穂後高温時における適正な水管理について

宮城県米づくり推進本部
平成30年7月31日

- 7月中旬以降、気温が高く、降水量はかなり少なく推移しています（仙台アメダスの7月11～25日の平均気温は平年差+4.1℃、降水量は平年比7%）。
- 7月27日に仙台管区气象台より「高温に関する東北地方気象情報第1号」が発表され、東北地方では7月29日から8月1日にかけて、最高気温が35℃以上となる場所があるとされています。
- 本県の水稻は、平年より4日早い7月28日（県全体の平均）に出穂始期に達しており、8月1日頃には出穂期に達するものと思われます。
- 出穂後に最高気温や夜温が高い状態が続くと、稲体の消耗による登熟不良や白未熟粒の発生等により品質の低下が懸念されます。また、出穂後10日間の最高気温が高いほど、胴割粒の発生が多くなる傾向があります。
- 高温登熟による品質低下を防止するためには「昼間深水・夜間落水管理」が有効ですが、用水の確保が難しい状況においては「走水等により土壌を常に湿潤状態に保つ水管理」を行うことにより白未熟粒や胴割粒の発生が軽減されます。なお、落水時期は出穂後30日前後としてください。（地域における用水の確保状況を勘案し、適切な水管理となるよう留意する。）

1 気象予報について

気象庁ホームページから最新の気象情報を確認して下さい。

〔宮城県の週間天気予報（7月31日11時）〕

日付	8月1日(水)	2日(木)	3日(金)	4日(土)	5日(日)	6日(月)	7日(火)	
東部	晴	曇時々晴	晴時々曇	曇時々晴	曇時々晴	曇一時雨	曇	
降水確率(%)	10/0/0/0	10	10	20	30	50	40	
仙台	最高(℃)	35	33 (32~36)	33 (30~35)	29 (26~32)	29 (26~33)	28 (25~33)	28 (25~33)
	最低(℃)	25	24 (23~25)	24 (23~25)	22 (21~24)	22 (20~24)	23 (19~25)	23 (19~24)

2 出穂時期の比較（7/30現在）

区分	出穂始期(5%)	出穂期(50%)	穂揃期(95%)
本年	7月28日	—	—
前年	7月29日	8月1日	8月11日
平年	8月1日	8月4日	8月11日
平年差	4日早い	—	—

※ 平年値は平成20～29年の10か年のうち最も早い年と最も遅い年を除いた8か年の平均値を用いた。

3 高温時の水管理について ～地域における用水の確保状況を勘案し、適切な水管理を～次の（1）または（2）により、本田内の水管理を徹底してください。

（1）昼間深水・夜間落水管理

晴天等の高温時において昼間はできるだけ深水管理とし、夜間は逆に落水管理とする水管理方法である。一日の用水温の推移を見ると、気温よりも数時間遅れて水温の低下が見られるので午前9～10時頃に入水し、気温が用水温を下回り始める午後4時頃に落水するのが望ましい。

（2）走水等により土壌を常に湿潤状態に保つ保水管理

出穂後の水管理を保水管理で維持することによって、昼間深水・夜間落水管理ほどの効果は得られないが、湛水管理に比べれば乳白粒や胴割粒の発生が軽減できる。